



うすい正一県議会レポート

発行／自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

県立高グラウンドを人工芝に

定例県議会一般質問

白井議員 かねてから学校のグラウンドを芝生化することは、スポーツの技術力向上や情操教育に大きく貢献すると考えている。

ラグビーにしてもサッカーにしても同じだと思うが、固い土の上で怪我を恐れながら練習するのと、柔らかい芝生の上で練習を重ねるのとでは、技術の向上の度合いが違ってくると思う。また、子どもが小さいうちに裸足で芝生の上で運動することから、長い期間利用する



白井県議の質問傍聴に来た方々とともに知事と

とで、情操教育にも良いと話聞いたことがある。

私には県議会サッカー部のキャプテンを務めている。年に一度、部員の皆様と芝のグラウンドで練習試合を行っているが、普段の練習と違い、芝の上でのプレーは自分のポテンシャルを十分に発揮することができると感じている。

しかしながら、芝生は植物なので、水遣りや雑草取り、芝刈りなどのメンテナンスが必要で、それらの手間と維持費はばかにならない。さらには、芝と土の部分との段差が怪我の要因になり得、それを解消するためにさらなる手間と維持費がかかる。このことで、メリットだけではなくデメリットもある。

そうした芝生のデメリットを補い、メリットのみを生かすことができるのが人工芝だ。以前の人工芝は、下地にコンクリートを用いることから、長い期間利用する

と、ひざや腰に負担をかけるという大きなデメリットもあったが、最近の技術革新でクッション性も天然芝生に劣らないものも開発され、設置費用も低廉化している。

県立幕張総合高校では、総合型地域スポーツクラブの拠点として学校開放が行われており、こうした地域の青少年の健全育成、生涯教育の推進、地域の健康寿命の延伸などの公益性の高い活動拠点となっている学校に関しては、積極的にグラウンドの人工芝生化を進める政策的意義が強いと考える。そこで、うかがうが、他県の県立高校における、グラウンドの人工芝生化の状況はどうか。

教育長 文部科学省では、授業や部活動において日常使用している体育・スポーツ施設の設置状況及び、地域のスポーツ活動への活用の実態を把握することを目的とした、学校体育施設設置状況など調査を行っている。この調査によりますと、全国の都道府県立高校のうち、人工芝グラウンドを有する学校は、平成25年度調査では、6都府県6校でしたが、平成26年度調査では、13都府県20校に増加しています。

白井議員 県立高校のグラウンドも人工芝生化を進めるべきと思うがどうか。

教育長 人工芝のグラウンドは、天候の影響を受けることが少ないことや、生徒の怪我の軽減につながるなど、授業や部活動での有効活用が期待できるほか、砂ぼこり対策となるなど、施設管理面でのメリットがあります。

グラウンドの人工芝生化を行うにあたっては、学校開放事業に活用することを条件に、スポーツ振興くじ助成金を利用することができ、学校施設の老朽化対策を進めている現状では、整備を進めることは難しい状況にあります。

しかしながら、全国の都府県立高校で人工芝グラウンドを有する学校が年々増加している状況にあることから、今後も、全国の整備状況を注視してまいります。

白井議員 人工芝のグラウンドには、totoが活用できるようなので、本県のスポーツ振興のために、よろしく願います。

要望

白井議員 人工芝グラウンドにはtotoが活用できるようなので、本県のスポーツ振興のために、よろしく願います。

白井議員 県立高校のグラウンドも人工芝生化を進めるべきと思うがどうか。

教育長 人工芝のグラウンドは、天候の影響を受けることが少ないことや、生徒の怪我の軽減につながるなど、授業や部活動での有効活用が期待できるほか、砂ぼこり対策となるなど、施設管理面でのメリットがあります。

グラウンドの人工芝生化を行うにあたっては、学校開放事業に活用することを条件に、スポーツ振興くじ助成金を利用することができ、学校施設の老朽化対策を進めている現状では、整備を進めることは難しい状況にあります。

しかしながら、全国の都府県立高校で人工芝グラウンドを有する学校が年々増加している状況にあることから、今後も、全国の整備状況を注視してまいります。

「市民の声が生かされる県政」を目指し、情熱あふれる政治活動が続けている白井正一県議（4期、千葉市美浜区選出）は定例県議会一般質問を行い、県政の課題や今後の方針について森田知事に質しました。白井県議はかねてからの持論である学校グラウンドの人工芝生化を取り上げ、スポーツの技術

力向上や情操教育に大きく貢献するとして、「県立高校のグラウンドの人工芝生化を進めるべき」と県教育長に方針を聞きました。また、困難な状況にあればいる県内卸売市場の活性化や幕張新都心拡大地区への新駅設置構想などについて、県行部に質問しました。

うすい正一県議 PROFILE

- 経歴■
- 昭和50年 1月 千葉市検見川町生まれ
 - 平成 9年 3月 日本大学文理学部卒業
英オックスフォードアカデミー修了
 - 平成14年10月 衆議院議員秘書
 - 平成15年 4月 県議会議員初当選
(4期連続当選)

- 現職■
- 県議会 商工労働企業常任委員会委員
 - 千葉県 生活衛生適性化審議会委員
 - 自民党県連 青年局長

県政や千葉市美浜区のご相談、ご意見を聞かせてください

うすい正一事務所

〒261-0004 千葉市美浜区高洲1-9-7-2
TEL 043-244-0033
FAX 043-244-2200

メールもお気軽に、ホームページも開設しています。 E-mail usui@shoichi.info URL=<http://www.shoichi.info>

経営厳しい県内卸売市場

市場数、卸売業者が激減

白井議員 千葉市の卸売市場の例でも分かる通り、県内の卸売市場の経営状態は非常に厳しいものがある。総合、青果、水産物、花きなどの卸売市場の総数は、平成10年の47場から、平成26年では33場へと大きく減少し、卸売業者の数も平成10年には61業者あったものが、平成26年には41業者へと3分の2まで減少してしまっている。

また、公設卸売市場の取扱高も平成10年の2690億円から平成26年では半減の1265億円あまりと

なり、卸売業者1社あたりの平均取扱高も3割程度落ち込んでいるとのことだ。

千葉県は屈指の農林水産県。千葉県で取れた新鮮な海の幸、山の幸を県民が手頃な値段で手に入れるためにも、県内の市場の活性化は必要な施策であると考えます。

そこで、県は、今後の卸売市場の活性化についてどう考えるか。

農林水産部長 食品流通の多様化に伴い、市場を経由しない取引が拡大する中で、県内の卸売市場が、生鮮食品

の流通拠点として今後ともその役割を果たしていくためには、各市場が地域の実情に応じた経営戦略を確立し、多様なビジネスモデルを展開していくことが重要と考えています。

このため県では、620万県民を有し、全国屈指の農林水産県である本県の優位性を生かし、開設者と卸売業者などが一体となつて出

荷者や買受人のニーズに的確に対応していくことができよう、国の基本方針に沿って、市場運営などに関する計画を改定する予定です。

今後とも、卸売市場の健全な運営を促すための検査や、開設者や卸売業者を対象とした研修会の開催などにより、市場関係者が卸売市場の活性化に積極的に取り組み

るよう、努めてまいります。

白井正一

ナショナルフットボールセンター

イベントの継続開催要望

県へJFAへ

白井議員（仮称）JFA ナショナルフットボールセンターの設置に向け、地元説明会の実施状況はどうか。

また、どのような意見が出されているのか。

都市整備局長 これまでに、幕張新都心に立地する企業で構成される「幕張新都心まちづくり協議会」や、地元自治体などで構成される「幕張ベイタウン協議会」などを対象とした説明会、住民参加型の意見交換会なども実施しております。

地元の皆様からは、海へアクセスする通路や、ジョギングもできる散策路の確保に、ぎわいを創出できるエリアの配置などのご意見をいただいております。今後、こうした意見も踏まえて、県、日本サッカー協会、千葉市の3者で、設置に向けて検討してまいりたいと考えております。

白井議員 県はJFAに対し、これまで定期的に開催し、定着しているイベントへの配慮を要望している」と聞いているが、見通しはどうか。

都市整備局長 県は、日

再質問をする白井正一県議員

再質問

必要

必要

必要

必要

必要

幕張新都心拡大地区

新駅設置調査会が初会合

白井議員 幕張新都心拡大地区新駅設置調査会の目的と調査内容はどうか。

企業庁長 幕張新都心の交通便利性の向上は、益々重要となつてきていることから、企業庁では、千葉市、習志野市、イオンモールとともに「幕張新都心拡大地区新駅設置調査会」を昨年12月25日に設置し、その第1回会議を本年1月19日に開催したところです。

調査会は、新駅設置の可能性などの調査・研究を目的とし、具体的には、新駅及び自由通路予定地の測量・地質調査と、駅舎の規模や工事期間の検討、概算事業費の算出などを行う基本調査を実施することとしています。

白井議員 調査会では、どのように調査を進めていくのか。

企業庁長 測量・地質調査については、本年2月から調査に着手しており、5月上旬までに終える予定です。

また、JR東日本と基本調査の実施協定を2月25日に締結しました。今後、利用者数に応じた駅舎の規模や工事期間などの調査をJR東日本が行い、本年11月までに、精度の高い結果を取りまとめる予定です。

その後、調査結果を踏まえ、新駅設置について地元市や進出企業などの関係者で検討を進めてまいります。

白井議員 若葉住宅地区の街開きや東京オリピック・パラリンピックの開催も踏まえ、引き続き、海浜幕張駅改札の混雑緩和の実現を目指して根強く働きかけていくよう要望する。

救急医療センター早期の建て替えへ

白井議員 老朽化が進む救急医療センターの整備にどのように取り組んでいくのか。

知事 県救急医療センターは、施設の老朽化・狭隘化が著しいことから、建て替えに向け「整備基本計画」の策定に取り組んでまいります。計画策定にあたっては、高度救命救急センターに求められる役割や機能などを精査し、将来にわたり高度かつ先進的な救急医療の提

供が可能な施設となるよう、早期の建て替えを目指してまいりたいと考えております。

白井議員 救急医療センターの整備にあたり、精神科医療センターとの一体的整備が必要と思うがどうか。

知事 精神疾患を有する救急患者の受入れ体制の向上や災害医療における心身両面にわたる包括的な医療支援などの必要性が高まっていることから、両センターの建て替えにあたっては、一体的整備を基本とし、医療機能の更なる充実・強化を図ってまいりたいと考えています。